

げばしゅうへんいせき

下馬周辺遺跡

(鎌倉市No.200 遺跡)

調査期間

20100617～継続中

所在地

鎌倉市由比ガ浜2丁目

時代

中・近世



作成日:20100813

概要

下馬周辺遺跡の調査は、新しい鎌倉警察署建設に伴う事前の発掘調査として実施しています。遺跡は現在の鎌倉駅から若宮大路を約700m南に向かった東面に位置します。約50m南には一ノ鳥居があり、約200m北には「下馬」の交差点と碑が位置します。

「下馬」は鶴岡八幡宮や鎌倉幕府に向かう者が、馬から降りた場所として伝えられています。

一帯は、約800m南の海岸線から続いている由比ヶ浜の砂丘帯の北東側で、砂地に遺構が築かれています。調査区は北地区と南地区に分割され、平成22年6月中旬から北地区の調査を開始し、現在の若宮大路と平行する江戸時代から近代にかけて使われていた溝状遺構や、井戸、土坑、竪穴状遺構などが発見されています。今後は中世面の調査を行う予定です。



▲ 北地区近世面全景



▲ 1号溝



▲ 13号土坑